

令和 6 年度 第 2 回函館市縄文遺跡群保存活用協議会

日 時 令和 7 年 2 月 2 0 日(木)

10:30～12:00

場 所 南茅部総合センター 講堂

次 第

1 開 会

2 挨 拶

教育委員会生涯学習部長

3 出席者紹介

4 議 事

(1) 報告事項

- | | |
|----------------------------------|--------|
| ① 協議会の要綱改正および委員の委嘱について | (資料 1) |
| ② 令和 6 年度 縄文関係事業報告 | (資料 2) |
| ③ 世界遺産の保全にかかる遺産影響評価 (令和 6 年度下半期) | |
| ④ 史跡大船遺跡保存活用計画 | (資料 3) |
| ⑤ 令和 7 年度 縄文関係事業計画 | (資料 4) |

(2) その他

5 閉 会

令和6年度 第2回函館市縄文遺跡群保存活用協議会
出席者名簿

(敬称略)

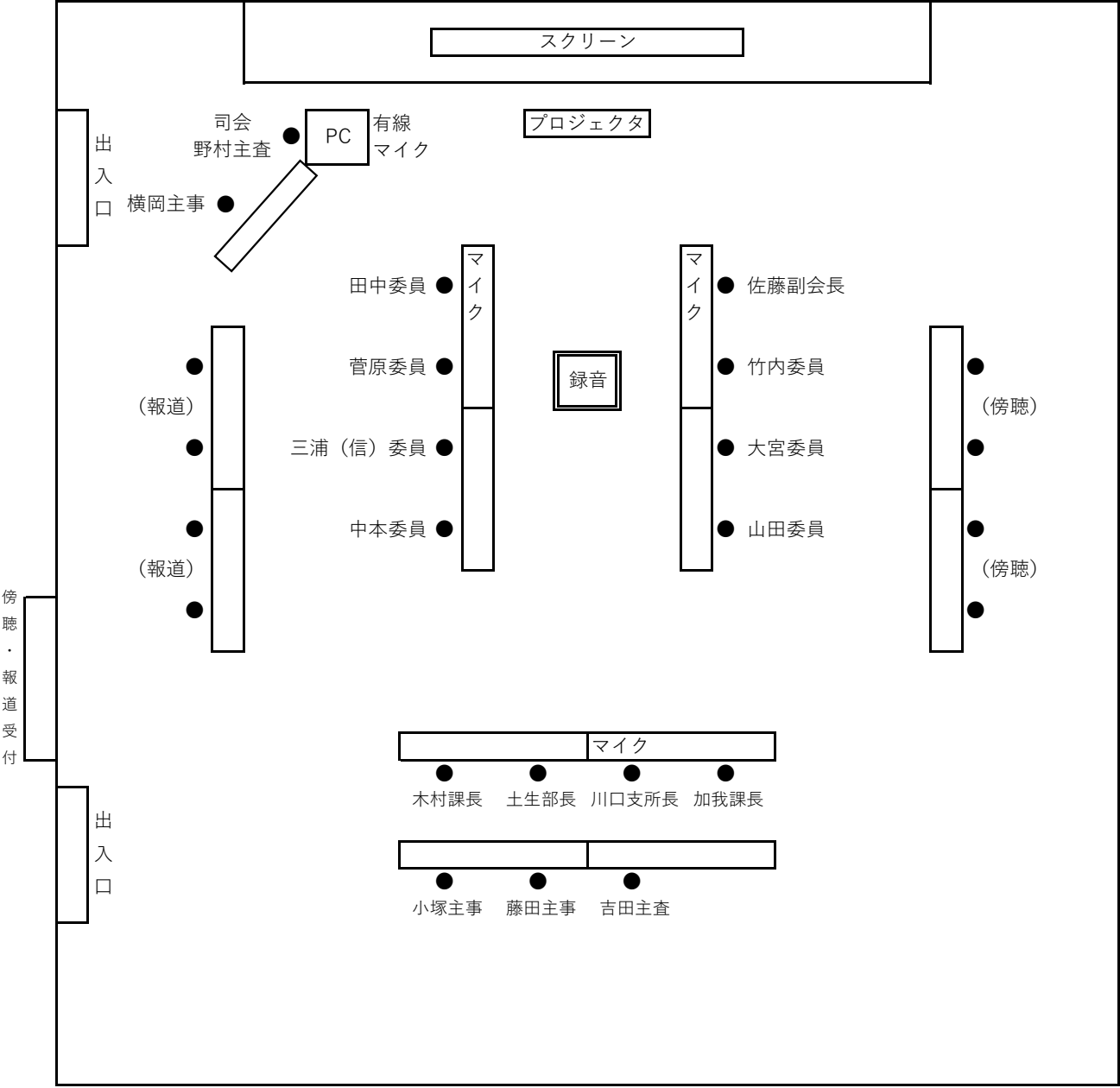
●函館市縄文遺跡群保存活用協議会委員

会 長	熊谷 儀一	南茅部町内会連絡協議会 会長	【欠席】
副会長	佐藤 安浩	一般財団法人道南歴史文化振興財団 事務局長	
委 員	竹内 正幸	道南縄文文化推進協議会 事務局長	
委 員	大宮 トシ子	北の縄文C L U B 会長	
委 員	山田 貴久	NPO 法人 Minamikayabe Revive Salon 代表理事	
委 員	谷口 諭	函館商工会議所 専務理事	【欠席】
委 員	三浦 孝史	一般社団法人函館国際観光コンベンション協会 事務局長	【欠席】
委 員	田中 佳丈	函館市小学校長会 南茅部小学校 校長	
委 員	菅原 学	函館市中学校長会 南茅部中学校 校長	
委 員	三浦 信一	北海道南茅部高等学校 校長	
委 員	中本 邦雄	臼尻町内会 会長	
委 員	佐々木 孝比古	大船町内会 会長	【欠席】

教育委員会	土生 明弘	生涯学習部長
	木村 元子	生涯学習部文化財課長
	野村 祐一	生涯学習部文化財課 主査
	吉田 力	生涯学習部文化財課 主査
	横岡 歩	生涯学習部文化財課 主任主事
	小塚 陽介	生涯学習部文化財課 主任主事
	藤田 真由	生涯学習部文化財課 主事
南茅部支所	川口 洋	南茅部支所長
	加我 明夫	南茅部支所産業建設課長

令和6年度第2回函館市縄文遺跡群保存活用協議会 座席図

日時 令和7年2月20日(木) 10:30～12:00
場所 南茅部総合センター 講堂



函館市縄文遺跡群保存活用協議会設置要綱

(設置)

第1条 函館市の史跡垣ノ島遺跡および史跡大船遺跡（以下「縄文遺跡群」という。）の保存および活用を推進するため、函館市縄文遺跡群保存活用協議会（以下「協議会」という。）を設置し、組織について必要な事項を定めるものとする。

(協議事項)

第2条 協議会は、次に掲げる事項について協議する。

- (1) 縄文遺跡群の保存および活用に関する事項
- (2) 縄文遺跡群の周辺の保全に関する事項
- (3) 前2号に掲げるもののほか、協議会が必要と認める事項

(組織)

第3条 協議会は会長、副会長および委員をもって構成する。

- 2 会長は委員の互選により定め、副会長は会長が指名する。
- 3 会長は協議会を代表し会務を総理する。
- 4 委員は別表に掲げる組織に属する者とする。ただし、必要に応じて会長が指名する者を委員とすることができる。
- 5 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときまたは会長が欠けたときは、その職務を代行する。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は2年とする。ただし、委員に欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

- 2 委員は再任することができる。

(会議)

第5条 協議会は、会長が必要に応じ招集する。

- 2 会長は、必要に応じ委員以外の者を会議に出席させ、説明または意見を求めることができる。
- 3 副会長および委員は、やむを得ない事情により会議に出席できないときは、代理者を出席させることができる。

(庶務)

第6条 協議会の庶務は、函館市教育委員会生涯学習部文化財課において処理する。

(補則)

第7条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が会議に諮って定める。

附 則

この要綱は、令和元年7月2日から施行する。

附 則

この要綱は、令和6年5月29日から施行する。

附 則

この要綱は、令和7年1月7日から施行する。

函館市縄文遺跡群保存活用協議会 委員名簿

令和7年2月20日現在

委 員	竹内 正幸	道南縄文文化推進協議会 事務局長
委 員	佐藤 安浩	一般財団法人道南歴史文化振興財団 事務局長
委 員	大宮 トシ子	北の縄文C L U B 会長
委 員	山田 貴久	NPO 法人 Minamikayabe Revive Salon 代表理事
委 員	谷口 諭	函館商工会議所 専務理事
委 員	三浦 孝史	一般社団法人函館国際観光コンベンション協会 事務局長
委 員	田中 佳丈	函館市小学校長会 南茅部小学校 校長
委 員	菅原 学	函館市中学校長会 南茅部中学校 校長
委 員	三浦 信一	北海道南茅部高等学校 校長
委 員	熊谷 儀一	南茅部町内会連絡協議会 会長
委 員	中本 邦雄	臼尻町内会 会長
委 員	佐々木 孝比古	大船町内会 会長

委嘱期間 令和5年（2023年）8月25日～令和7年（2025年）8月24日まで

別表

函館市縄文遺跡群保存活用協議会委員

役職	部門	所 属	備 考
委 員	民間	道南縄文文化推進協議会	活用，観光振興
委 員	民間	一般財団法人道南歴史文化振興財団	活用，調査・研究
委 員	民間	北の縄文ＣＬＵＢ	活用
委 員	民間	NPO 法人 Minamikayabe Revive Salon	活用，観光振興，地域振興
委 員	民間	函館商工会議所	観光振興，地域振興
委 員	民間	函館国際観光コンベンション協会	観光振興
委 員	教育	函館市小学校長会	活用，教育活動
委 員	教育	函館市中学校長会	活用，教育活動
委 員	教育	北海道南茅部高等学校	活用，教育活動
委 員	地域	南茅部町内会連合会	地域振興，保存
委 員	地域	臼尻町内会	地域振興，保存
委 員	地域	大船町内会	地域振興，保存

※会長，副会長 委員のうち１名

〔資料 2〕 令和 6 年度 事業報告

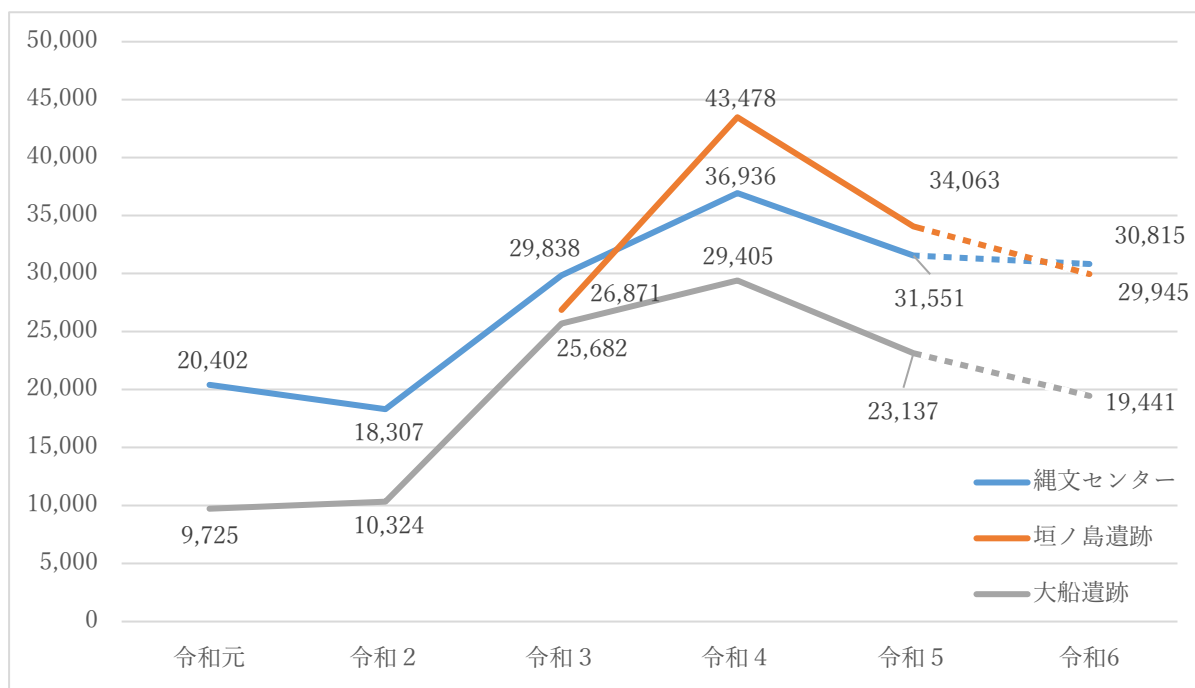
1 縄文遺跡群の保存活用

ア 縄文遺跡群への来訪者推移

縄文関連施設来訪者数

(単位: 人)

	令和元年度 2019	令和 2 年度 2020	令和 3 年度 2021	令和 4 年度 2022	令和 5 年度 2023	令和 6 年度 2024
縄文センター	20,402	18,307	29,838	36,936	31,551	29,117
垣ノ島遺跡	—	—	26,871	43,478	34,063	28,662
大船遺跡	9,725	10,324	25,682	29,405	23,137	18,711
備 考			R3. 7 世界遺産登録 垣ノ島遺跡公開			～R7. 1 月末



※ 令和 6 年度は、2 月・3 月が前年同様の来訪とした場合の想定人数

〔参考〕縄文遺跡群関連各施設の来場者推計

施設名	登録前年度 令和 2 年度	登録初年度 令和 3 年度	登録 2 年目 令和 4 年度	登録 3 年目 令和 5 年度	登録 4 年目 令和 6 年度
縄文センター	20,402	64,923	39,768	31,674	31,674
垣ノ島遺跡	—	152,130	93,185	74,218	74,218
大船遺跡	9,725	30,947	18,956	15,097	15,097

縄文遺跡群の世界文化遺産登録による効果促進施策のありかた 令和 2 年 (2020 年) 10 月

2 縄文遺跡群の普及啓発

ア 世界遺産登録3周年記念事業

1) おしまの縄文ファンメイキング

a) 縄文パネル展 in まちづくりセンター 1/15-1/24 【共催】

会場：まちづくりセンター

b) 縄文パネル展 in なないろ・ななえ 1/28-2/3 【共催】

会場：道の駅なないろ・ななえ



まちづくりセンター



なないろ・ななえ

イ 普及啓発活動

1) 函館市縄文遺跡群案内フライヤー（多言語版）の作成・配布

英語，中国簡体字，中国繁体字，韓国語

市内駅，空港，バス，市内観光施設，市内ホテル等に設置

別添：フライヤー参照



2) はこだてコレクション 2024 12/1

市民部

主催：函館市女性会議主催

会場：函館市役所 1 階市民ホール

函館市の P R ブースを出展



3) JOMON FESTIVAL 2025 縄文雪まつり～縄文 LOVE 大集合！～ 2/8-2/9 【協力】

主催：北の縄文道民会議

会場：札幌地下歩行空間 チ・カ・ホ 北3条交差点広場西

a) 函館市のPRブースを出展

パンフレット配布，縄文缶バッジ作り体験

縄文スイーツ販売（函館スイーツ推進協議会）

b) 縄文リレートーク

世界遺産のマチから 大船遺跡と垣ノ島遺跡

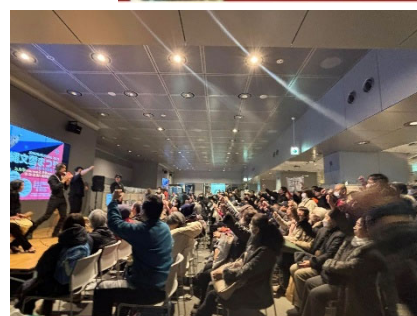
世界遺産だけじゃない！函館の縄文遺跡



函館市PRブース



缶バッジ作り体験



縄文リレートーク

ウ 他団体事業への協力

1) 縄文遺跡群世界遺産本部

a) 世界遺産東京フォーラム 1/26 【協力】

会場：有楽町朝日ホール（東京）

函館市のPRブースを出展



函館市PRブース



フォーラム



2) 北海道・縄文世界遺産推進室

a) 縄文遺跡探究ワークブック「じょもるんとじょうもんへ」【協力】

函館市内小学校に配布

別添：ワークブック参照

b) 縄文世界遺産音声ガイド 日本語版・英語版の作成【協力】

https://kitano-jomon.jp/audio_guid



3) 北海道渡島総合振興局

a) 「おしまの縄文」ファンメイキング スタートアップセミナー 2/6-7【協力】

縄文文化資源の活用に向けた講演など

別添：新聞記事参照

4) 北海道教育庁渡島教育局

a) 渡島フロンティア人材育成事業 成果発表会 2/20 【協力】

参加校：南茅部小学校，南茅部中学校，南茅部高校

5) 函館国際観光コンベンション協会

a) 道南地域の縄文遺跡の魅力を伝える小学生向け動画 【協力】

「知ったらきっとじまんしたくなる！縄文のヒミツ」

<https://www.youtube.com/watch?v=glQtVSyKNH8>

別添：チラシ参照

6) その他

a) 函館市南茅部地域おこし協力隊

縄文記憶ゲームの作成・寄贈（南茅部小学校，南茅部中学校，南茅部高校）

別添：新聞記事参照

1. 策定の趣旨

現在の保存管理計画（平成24年12月 策定，平成28年3月 改訂）以降に生じた様々な環境の変化に対応し，史跡大船遺跡を将来にわたり確実に保存していくため，史跡を取り巻く環境や現状を整理し，史跡の本質的価値と構成要素の明確化，史跡を適切に保存管理していくための基本方針や方法，現状変更等の取扱基準，整備および整備後の維持管理，活用等の基本的な考え方について取りまとめ，「保存活用計画」として策定するものです。

2. 史跡大船遺跡の概要

（史跡年代：紀元前3,500～紀元前2,000年頃）

太平洋を望む海岸段丘上に立地する拠点集落。深さ2mを超える竪穴建物や貯蔵穴，盛土遺構，墓などが配置されています。盛土遺構には膨大な量の土器・石器，焼土などが積み重なり，長期間にわたって祭祀・儀礼などが行われていたことを示します。クジラ，マグロなどの海獣骨や魚骨，クリやクルミなどの堅果類も出土し，沿岸地域における生業と精神文化を伝えます。

■これまでの経過

H8年度	町営墓地の造成に伴う発掘調査
H9～13年度	遺跡の範囲確認調査
H13年8月13日	史跡指定
H18～21年度	第一次整備事業
H24年度	保存管理計画の策定
H27年度	保存管理計画の改訂
R3年7月27日	世界文化遺産に登録

3. 史跡の本質的価値

北海道南部の太平洋沿岸に面した，縄文時代中期の深さ2mを超える大型竪穴建物，貯蔵穴，盛土遺構，墓からなる拠点集落の様相や，当時の生活や精神文化を良好かつ顕著に示す多様な出土遺物を有する大規模な集落跡

■ 縄文中期における大型竪穴建物による安定した定住を示す大規模な拠点集落

■ 盛土遺構や住居内の小土坑など集落に伴う祭祀・儀礼に関わる特殊遺構

■ 太平洋をはじめ豊かな自然と共生した当時の生活や生業を示す多様な出土遺物と地形

4. 大綱（基本方針）

■ 史跡の本質的価値の確実な保存と価値の顕在化
～縄文人が残した証を保存するとともに，その価値を正しくわかりやすく伝え，さらに高める～

■ 安定した定住を支えた環境の保全と保存活用体制の充実
～縄文の背景にある環境を守り，周辺景観との調和を図りながら，未来へ継承し維持し続ける～

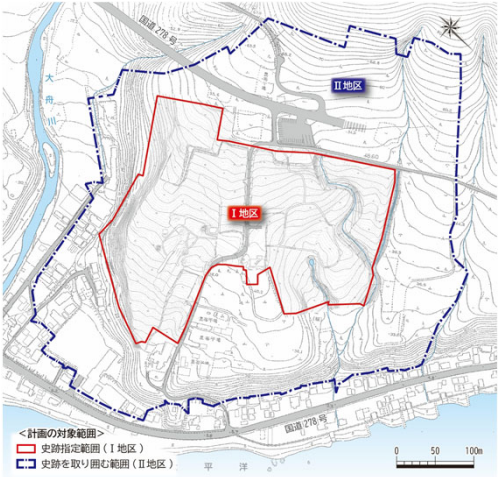
■ 地域資源の再発見や価値の向上のための拠点の形成
～縄文から続く豊かな自然環境や生業を体験できるよう，地域との連携を強化し推進する～



縄文から現代へ受け継がれる「地域の宝」を，「国の宝」として，地域一体となって，守り，活かし，未来へつなぐ。

区 分	氏 名	所 属	分 野
委員長	國木田 大	北海道大学大学院文学研究院 准教授	考古学 文化財科学
委 員	鈴木 三男	東北大学 名誉教授	植物学 考古学
	田代 亜紀子	北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院 准教授	文化遺産 地域研究
	平野 千枝	一般財団法人 道南歴史文化振興財団 函館市縄文文化交流センター 学芸主任	保存科学 普及活用
助言者	浅野 啓介	文化庁文化財第二課 史跡部門 文化財調査官	
	小野 友記子	文化庁文化資源活用課 整備部門 文化財調査官	
	鈴木 地平	文化庁文化資源活用課 文化遺産国際協力室 世界文化遺産部門 文化財調査官	
	内田 和典	北海道教育庁生涯学習推進局 文化財・博物館課 文化財保護係 専門主任	
	村本 周三	北海道環境生活部文化局文化振興課 縄文世界遺産推進室 主査	

計画検討委員会委員および指導助言者名簿



計画の対象範囲

5. 計画の対象範囲・計画期間

（1）対象範囲

史跡指定地の地形や周辺の土地利用の状況に基づき，Ⅰ地区（史跡指定範囲）と，Ⅱ地区（史跡を取り囲む範囲）の2つに区分した。

（2）計画期間

令和7(2025)年4月1日から令和17(2035)年3月31日までの10か年とする。また，実施期間は，前期と後期に区分して，それぞれ5年の期間を設定し実施する。

「縄文のにわ」 全景

〔資料４〕 令和７年度 事業計画

1 縄文遺跡群世界遺産関係経費	96,710千円
-----------------	----------

1 縄文文化交流センター等管理委託料	94,682千円
--------------------	----------

令和７年度からの縄文文化交流センターの新たな指定管理期間開始に合わせ、業務委託と
していた大船遺跡・垣ノ島遺跡の維持管理業務を縄文文化交流センターと一体化

〔指定管理者〕	一般財団法人道南歴史文化振興財団
〔指定管理期間〕	令和７年４月１日から令和１０年３月３１日まで（３年間）
〔債務負担行為限度額〕	令和７年度 94,682,000 円
	令和８年度 95,075,000 円
	令和９年度 95,091,000 円 ３か年合計 284,848 千円

2 保存活用・普及啓発費	2,028千円
--------------	---------

ア 保存・維持管理

- 1) 函館市縄文遺跡群保存活用協議会の開催 ２回
- 2) 縄文遺跡群世界遺産本部関係会議への出席
本部会議（青森市）、専門家委員会（秋田市、青森市）、世界遺産協議会（札幌市）等

イ 受入体制整備

- 1) 臨時駐車場の確保
第１臨時駐車場（東海団地用地）、第２臨時駐車場（スポーツセンター駐車場）
- 2) 臨時駐車場シャトルバス運行
４月～１１月のうち混雑日 10 日間 臨時駐車場 ⇄ 縄文文化交流センター

ウ 普及啓発事業

- 1) (仮) はこだて縄文まつり 2025
〔主 催〕 南かやべ縄文まつり実行委員会
〔共 催〕 函館市教育委員会
〔会 場〕 垣ノ島遺跡
〔実施時期〕 秋開催予定
- 2) その他縄文関連イベントへの協力
資料展示・PRブースの出展
ノベルティグッズの作成

エ 縄文遺跡群誘導案内の整備

1) 電柱掲示案内版

函館駅・函館空港 ～ 大船遺跡・垣ノ島遺跡における電柱掲示案内板設置

2) 道路標識

函館開発建設部，道函館建設管理部で設置予定

オ 縄文世界遺産拠点施設の誘致

1) 縄文世界遺産拠点施設の函館誘致

南茅部地域が候補地とされた

北海道との協議

別添：「北海道における縄文世界遺産の拠点形成方針」参照

2 史跡垣ノ島遺跡整備事業費

4, 000千円

保存活用計画の策定

保存活用計画検討委員会の開催

3 国宝土偶発見50年記念事業費

150千円

ノベルティグッズの作成

縄文文化交流センターで特別展，講演会など

4 縄文遺跡群世界遺産本部負担金

1, 124千円

ア 保存・活用推進事業

1) 縄文遺跡群世界遺産保存活用協議会の運営

〔構成団体〕4 道県および 14 市町 計 18 自治体

〔主な事業〕・会議の開催 本部会議 1 回，協議会 2 回，専門家委員会 2 回

・包括的保存管理計画の運用

・デジタルアーカイブの保守管理

イ 来訪・周遊促進事業

1) 来訪者動向調査

2) 来訪・周遊促進企画

3) 世界遺産登録5周年に向けたプロモーション

ウ 総合情報発信事業

- 1) 国内フォーラムの開催（東京・福岡）
- 2) ホームページによる情報発信
- 3) 広報物制作

エ その他

- 1) 世界遺産の連携・協力

5 郷土学習推進事業「縄文に触れる学習」 2, 684 千円

市立小学校の児童が、大船遺跡や垣ノ島遺跡、縄文文化交流センターを見学し、身近にある世界遺産や国宝「中空土偶」について学ぶ「縄文文化に触れる学習」を実施

〔対 象〕市立小学校第3学年の児童および引率教員 約1,400人

〔事業費〕バス借上料 2,684 千円

6 埋蔵文化財発掘調査受託事業費 1, 000 千円

- 1) 一般国道278号尾札部道路工事
大船B遺跡 整理作業・報告書作成
- 2) 臼尻漁港臨港道路工事
臼尻小学校遺跡 整理作業・報告書作成

7 南茅部地域世界遺産活用支援事業費 10, 915 千円

南茅部支所

地域おこし協力隊制度を活用した南茅部地域活性化に向けた支援事業

地域おこし協力隊 2名